

COP27開催直前！！

11.5  
STOP!

# 気候危機 京都市民アクション

11月5日(土)@京都市役所前

13:30～ デモのデコレーション準備 \*手伝ってくれる人募集中！！

14:00～ アピールスタート

14:30～ デモ出発

京都市役所前～四条河原町～円山公園

呼びかけ:STOP! 気候危機! 京都市民アクション実行委員会



@KYOTOclimate



<https://fb.me/e/2NaXqPkGe>



# STOP！気候危機！11月5日京都市民アクションの呼びかけ(趣意書)

11月6日から、COP27(国連気候変動枠組条約 第27回締約国会議)がエジプトで開かれます(会期は11月6日～18日)。

昨年、英国・グラスゴーで開催されたCOP26では、産業革命以降の気温上昇を1.5℃未満に抑える目標に向けて各国が決意をもって取り組むことが確認されました。

それは現在の差し迫った危機の反映です。  
一方で、世界各国が目指す削減目標の合計が到底それに及ばないのも重大な事実です。

いま、気温上昇は1.1℃ですが、すでに気候変動による様々な「危機」が現実化しています。世界各地で発生する山火事や干ばつ、極端な豪雨の発生が私たちの町や村を脅かしています。日本でも、強さを増す豪雨は、大規模な洪水などを引き起こしています。

私たちが目指す「気温上昇1.5℃未満」目標のCO2削減が達成されても、まだ長期間強度をました気候変動のもとで暮らさざるをえません。すでに大気中に蓄積された二酸化炭素は排出ゼロになっても、すぐに大気中からなくなるからです。

私たちの子どもや孫たちの世代は、さらに酷い環境を強いられることになります。いま私たちできることは、それでも人類が耐えしのげる程度の環境を未来の世代に残すことです。

今、それさえも達成できる保障が作り出されてはいません。

これまで人類の経済活動によって生み出され、それが引き起こす災厄は、今度は人類の政治的決断と社会変革によって、緩和されなくてはなりません。

岸田首相は、ロシアのウクライナ軍事侵攻に乗じて、原発の復権をはかろうとしています。石炭火力と原発にしがみついた政治に未来はありません。いま政治は、省エネと再生可能エネルギーの大規模な活用に方向転換すべきです。

私たちは、昨年、「STOP！気候危機！」の課題を政治が真正面から取り上げるよう、市民が声をあげようと、春・秋のアクションを行ってきました。この秋、COP27を前に、市民や若者、女性、子どもたちの声を示そうと、「STOP！気候危機！京都市民アクション」の実施を呼びかけます。

このアクションは、京都で環境や市民活動に取り組む市民が準備してきました。さらに世論を盛り上げ、地球温暖化の進行が未来を閉ざさないよう、声をあげたいと思っています。

ぜひ、皆さまのアクションへの賛同と参加を呼びかけます。また、皆様からの募金も呼びかけていますので、よろしくお願いいたします。

## STOP！気候危機！京都市民アクション実行委員会

(呼びかけ人:喜多村出、榊原義道、佐々木佳継、新開純也、杉本裕好、田浦健朗、田中暁、進藤天真、とがし豊、光永敦彦、藤井悦子、堀川朗子、前田直人)  
連絡先:090-9624-6529



【アクションへの賛同人を募集中！！】

QRコードを読み込んで賛同フォームに入力をお願いします。

<https://forms.gle/N3AryRXu2a3wWe5YA>

賛同いただいた方のお名前と団体名はFBページなどで公表させていただきます。